

Annual Report 2017

PHD

事業報告 **2017**
公益財団法人
PHD協会 2017.4 - 2018.3





Annual Report 2017

理事長挨拶

理事長 水野 雄二

いつもPHD協会に多大なご支援を賜り感謝申し上げます。ここに2017年度事業報告をお届けいたします。2017年度もミャンマー、ネパール、インドネシアからの研修生を迎え、実りある一年を過ごすことができました。また、多くの皆様との交流の場を通して、私たちの生き方を問う機会が与えられましたことを、3月3日の帰国報告会での研修生の報告を通して改めて感じることができました。この一年、研修生に対する皆様の温かいご支援、ご指導に心から御礼申し上げます。

事務局報告

主任主事 坂西 卓郎

2017年度は「チャレンジの年」を掲げ、各職員が目標を設定し、新しい挑戦に取り組んで来ました。

目玉としてはJICA草の根技術協力事業へのチャレンジがあります。これは近年、活躍が目覚ましいインドネシアの元研修生たちのフォローアップを目的とした事業です。最終的に「生計向上のための牛肥育に関する知識・技術の普及事業」が採択され、現在は事業実施に向けインドネシア政府や西スマトラ州と契約に向けて協議中です。帰国した研修生と協働で本格的に事業に取り組むことになり、当会としても新しい



一昨年のベテラン職員の退職に伴う新しい体制で臨んだ2017年度でしたが、多くの課題を残しながらも、一定の成果を上げることができました。インドネシアでの牛プロジェクトやSNS対応を図った広報活動など、新たな試みも定着しようとしています。2018年度も新たな研修生、職員を迎え、使命の実現に向けてスタートしています。PHD協会の今後の働きに更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

局面を迎えることとなります。

また事務局体制も「働き方改革」をテーマに取り組んで来ました。2018年度より新しい体制、具体的には8名への増員となります。過去にはない大所帯となり、働きやすさ向上を目指します。

基幹事業である研修事業も2016年度に引き続き女性3名の研修を指導者、ボランティアの皆様のお支えで大きな成果とともに終えることができました。皆様のご支援に深く感謝申し上げます。

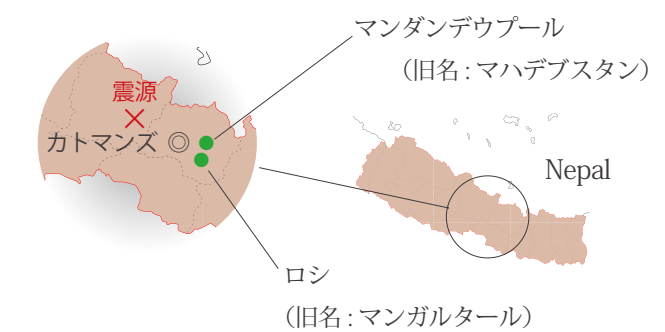
PHD SAVE NEPAL

ネパール大地震被災者支援

2015年4月25日、M7.8の大地震が発生。続く、5月12日にはM7.3の余震が発生し、被害が拡大しました。PHD協会では2015年度と2016年度に引き続き2017年度も被災者支援を実施しました。

大地震から約2年、飲料水や仮設住宅などの最低限の生活環境は整ったものの、乾季には水が不足して農業ができないなど生活再建や恒久住宅の建設にはまだまだ長い道のりです。そんな中、被災地のPHD研修生は自らも被災したにも拘わらず、復興の担い手として活躍しています。彼らをサポートするために2017年度よりネパールPHD研修生里親制度」を3カ年計画で開始しました。

2017年度PHD協会ネパール大地震被災者支援費内訳	
ネパールPHD研修生里親制度（4名分）	874,638円
シードバンク	932,381円
ヤギ肥育プロジェクト	440,146円
その他、現地費用、管理費等	293,361円
合計	2,540,796円



PHD協会被災者支援活動地域

元研修生助産師ランマヤさん医療活動状況

カトマンズ近郊のマンダンデウプール地区には第1期研修生（1982年度）バート・ビスタさんが設立し、PHD協会と提携している現地NGO「SSS」があります。助産師となった2012年度研修生ランマヤ・タマンさんはSSSの医療スタッフとして、被災地でお産や疾病治療に従事しています。2017年度は特に「ネパールPHD研修生里親制度」を通して、PHD協会支援者の方々からご寄付いただき、震災により傷ついた地域の医療を支えるために活動しました。

ランマヤさん医療活動詳細（2017年4月～2018年3月）		
医療行為名、病名等	患者数	
妊婦検診	884	
出産	114	
産後検診	60	
子宮脱	6	
リングペッサリー交換	33	
リングペッサリー装着	8	
尿路感染症	228	
膣出血	147	
月経不順	139	
胸部疾患	36	
骨盤腹膜炎	350	
性感染症	175	
一般疾患患者（性別）	男性 1,264	女性 4,137
一般疾患患者総数	5,401	
妊娠検査（尿検査）	陽性 171	陰性 246
その他出産関連疾患	199	
VIA検査(子宮頸がん)	陽性 0	陰性 80
超音波ビデオX線検査	46	
遷延分娩	10	
子宮脱動悸	9	
尿管結石	86	
異常分娩	2	



新生児をとりあげたウルミラさん（写真右：28期2010年度研修生）とランマヤさん（写真左：30期2012年度研修生）。2人は現地NGO「SSS」の助産師です。



ヤギ肥育プロジェクトにおいて、支給されたヤギと農家の青年。

ヤギ肥育プロジェクト

- ・母親グループ4団体から25名の参加で5日間の研修を実施。
- ・ヤギの小屋を新しい母親グループ3団体に提供。
- ・ヤギを9頭提供。
- ・コンポストを母親グループ4団体に提供。

家族計画（避妊）サービス（2017年4月～2018年3月）		
	初診	再診
デボ(避妊薬)	117	1,136
コンドーム	35	138
X線検査	48	252
子宮内避妊具(IUCD)	107	1,207
インプラント	128	2,247

2017年度PHD研修生の活動を報告します。

第35期研修生

インドネシアからは小学校の先生、デフィさんが来日。教育現場を中心に研修を受けました。「授業がつまらない」という子どもたちのため、視覚教材などを使い、自ら考える授業手法について学びました。

ネパールからの研修生ミスラさんは地元タクレ村の人たちが無計画に農業を使い始めていることに危機感を抱き、自然農法を取り入れた有機農業についての研修を受けました。また、幼稚園の先生

マリア シルヴィアナ デフィさん

(インドネシア・女性・28歳)

研修テーマ：教育、保健衛生、洋裁、協同組合

推薦団体：財団法人PHDインドネシア



デフィさんの洛北高校での研修の様子

ミスラ・マヤ・タマンさん

(ネパール・女性・18歳)

研修テーマ：幼児教育、保健衛生、洋裁、農業

推薦団体：SAGUN



ミスラさんの保育研修
(はらっぱ保育所)

を目指していることから、保育園でも研修を実施し、長時間保育についても学びました。

ミャンマーから来日したタンタンミエさんは、シヤン州からの研修生第1号です。出身のコンバン村には病院がないことから、病気やむし歯の予防といった保健衛生の研修を多く受けました。また、農業に従事していたことから、有機農業研修も複数回設けました。

滞在／黒野 美代子さん／神戸市垂水区
保育／のぞみ保育園／神戸市須磨区
小学校教育／羽曳野市立西浦小学校／大阪府羽曳野市
小学校教育／椋山女学園大学附属小学校／名古屋市千種区
幼児教育／神戸YMCAちとせ幼稚園／神戸市須磨区
保育／たいようこども園／兵庫県養父市
小学校教育／高砂市立伊保南小学校・学童／兵庫県高砂市
ハンディーキャップケア／ステップハウス／兵庫県高砂市
洋裁／高木 育代さん／神戸市西区
保健衛生・健診／加東市保健センター／兵庫県加東市
小学校教育／高砂市立阿弥陀小学校／兵庫県高砂市
中学校教育／神戸市立井吹台中学校／神戸市西区
高校教育／京都府立洛北高等学校／京都市左京区
小学校教育／神戸市立こうべ小学校／神戸市中央区
保健衛生・健診／三木市総合保健福祉センター／兵庫県三木市

滞在／猪上 通恵さん／神戸市垂水区
保育／はらっぱ保育所／兵庫県西宮市
野菜栽培・有機農業／あらい農園／京都市右京区
洋裁／高木 育代さん／神戸市西区
野菜栽培・有機農業／円谷 豊子さん／兵庫県篠山市
保育／ささやまこども園／兵庫県篠山市
野菜栽培・有機農業／のりたま農園／兵庫県篠山市
保育／杉の子保育園／神戸市中央区
野菜栽培・米栽培／寺田 まさふみさん／兵庫県豊岡市
農業・土着微生物／泉 精一さん／愛媛県松山市
ハンディーキャップケア／ステップハウス／兵庫県高砂市
野菜栽培・米栽培／寺田 まさふみさん／兵庫県豊岡市
保健衛生・健診／三木市総合保健福祉センター／兵庫県三木市

タンタンミエさん

(ミャンマー・女性・20歳)

研修テーマ：保健衛生、洋裁、農業

推薦団体：PHDミャンマー、NGOヤンキン



渋谷富喜男さんから有機肥料について学ぶタンタミエさん

共通研修

2017年4月～5月 日本語研修／神戸YMCA学院専門学校／神戸市中央区
日本語研修／PHD協会・日本語ボランティア／神戸市中央区
協同組合研修①／生活協同組合コープこうべ みずほ協同農園／神戸市北区
協同組合研修②／生活協同組合コープこうべ こども食堂／神戸市中央区
協同組合研修③／生活協同組合コープこうべ 食品検査センター／兵庫県尼崎市
防災研修①／まち・コミュニケーション／神戸市長田区
防災研修②／被災地NGO協働センター／神戸市兵庫区
防災研修③／CODE海外災害援助市民センター／神戸市兵庫区
防災研修④／エフエムわいわい／神戸市長田区
防災研修⑤／多言語センターFACIL／神戸市長田区
防災研修⑥／神戸常盤大学／神戸市中央区
防災研修⑦／アジア眼科医療協力会／兵庫県西宮市
口腔衛生研修①／なでしこ歯科／神戸市西区
防災研修⑧／Future Code／神戸市中央区
防災研修⑨／プラス・アーツ／神戸市中央区
住民組織化研修・行動計画作り／PHD協会／神戸市中央区
社会学習・釜ヶ崎の歴史や現状／旅路の里／大阪市西成区
2018年1月 口腔衛生研修②／神戸常盤大学／神戸市中央区
口腔衛生研修③／なでしこ歯科／神戸市西区
社会学習・残留農薬被害／淡路島モンキーセンター／兵庫県洲本市
2月 ゴミ処理・リサイクル研修①／こうべ環境未来館／神戸市西区
ゴミ処理・リサイクル研修②／布施畑環境センター／神戸市西区
口腔衛生研修④／神戸常盤大学／神戸市中央区

滞在／宝田 和正さん・てるみさん／神戸市垂水区
保育／友愛幼稚園／神戸市中央区
野菜栽培・有機農業／渋谷 富喜男さん／神戸市西区
野菜栽培・有機農業／あらい農園／京都市右京区
保育／神戸YWCA保育園／神戸市中央区
野菜栽培・有機農業／上垣 敏明さん／兵庫県養父市
野菜栽培・有機農業／円谷 豊子さん／兵庫県篠山市
保健衛生／丹南健康福祉センター／兵庫県篠山市
野菜栽培・有機農業／のりたま農園／兵庫県篠山市
農業・完熟たい肥・サイレージ／真柴 三幸さん／兵庫県佐用町
ハンディーキャップケア／ステップハウス／兵庫県高砂市
野菜栽培・稲作・有機農業／中野 宗嗣さん／兵庫県丹波市
保健衛生／健康推進課・保健福祉総合センター／島根県松江市
保健・保育／シオンの園／島根県西ノ島町
洋裁／高木 育代さん／神戸市西区
保健衛生・健診／三木市総合保健福祉センター／兵庫県三木市
応急手当・保健衛生／協立病院／兵庫県川西市(月1回)



口腔衛生研修。実際に自分の歯を手鏡を使って観察し、歯ブラシの重要性を認識します。(なでしこ歯科)

兵庫県内研修報告会

加東市連合婦人会／兵庫県加東市
研修指導者会／兵庫県西脇市
但馬PHD指導者会／兵庫県豊岡市

失礼ながら研修先の団体様につきまして、敬称を省略させていただきました。

2017年度研修旅行

東日本研修旅行 10月23日～ 31日

- 東京都
- 青年海外協力協会（J O C A）、
全日本自動車産業労働組合総連合会、
ユニセフハウス、ロータリー米山記念奨学会、
日本労働組合総連合会、勝楽寺、
アーユス仏教国際協力ネットワーク、
地雷廃絶日本キャンペーン（J C B L）
- 山梨県
- 山梨英和中学校（Y W C Aひまわり部）、山梨Y M C Aグループ
- 長野県
- 塩尻めぐみ幼稚園、日本キリスト教団 松本教会
- 神奈川県
- こどもの広場もみの木クラブ
- 岐阜県
- 国際ソロプチミストかみ野、日本キリスト教団 中濃教会
- 愛知県
- 小牧幼稚園

<敬称略>

西日本研修旅行 1月13日～ 26日

- 鹿児島県
- かごしま有機生産組合、出水高等学校、だるま保育園、
蔵島小学校、出水民泊プランニング
- 熊本県
- 水俣病センター相思社、エコネットみなまた、
ほっとはうす、菊池恵楓園
- 福岡県
- アジアを考える会 北九州、北九州市環境ミュージアム、
旭ヶ丘会館、祝町小学校、日本の歌コンサート、
到津の森公園
- 山口県
- 梅光学院高等学校、岩国みなみワイズメンズクラブ、
岩国Y M C A国際医療福祉専門学校
- 広島県
- 広島平和記念資料館、共生庵、みらさか小学校、
灰塚コミュニティセンター、敷信みのり保育所
- 岡山県
- 赤磐市中央公民館、せとうちY M C A学童保育うのクラブ

アクションプラン

個別研修、共通研修を終えた後、35期生たちは帰国後の村でのアクションプラン（活動計画）を考えました。次の図は研修生たちが作成した出身村の課題分析と活動目的との因果関係を視覚化したものです。



デフィさんの活動計画

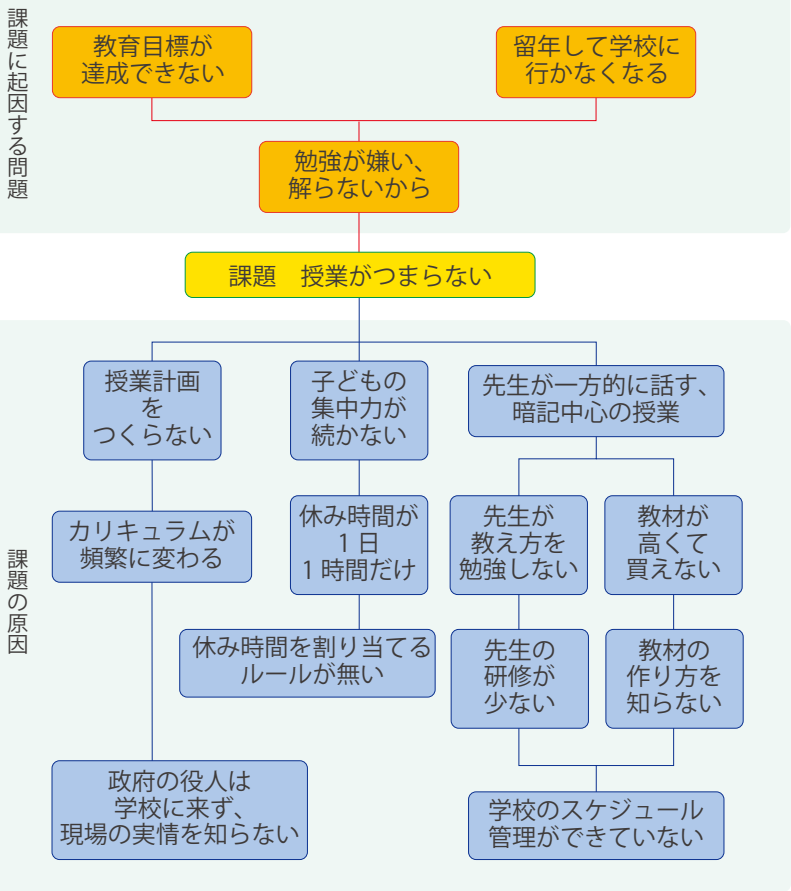


「楽しくてためになる授業をしたい」

デフィさんにとって村の課題は、勤務するMISタベ小学校の「授業がつまらない」こと。これは、小学校に教材や教具が十分になく、先生たちは黒板に書くだけという授業をしているため。その結果、子どもたちが勉強しなくなり、小学1年生から留年する子どもまでいます。デフィさんは日本での「教育研修」を通して、教材や教具を活かした授業や、子どもたちが自ら考える授業の必要性を学びました。

帰国後は子どもたちが毎日勉強を仕方なくするのではなく、心から楽しめる授業、自ら考える授業手法の開発と普及に励みます。

MISタベ小学校の問題系図



ミスラさんの活動計画

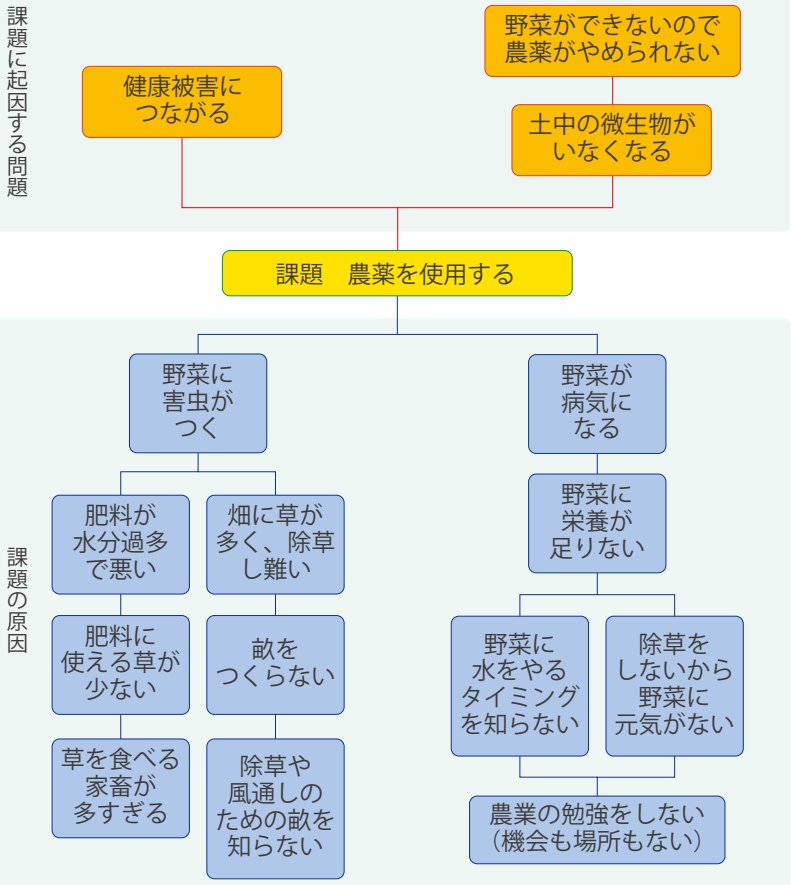


「農業を使わない農業をしたい」

ミスラさんの出身村であるタクレ村では、近年中国から輸入した農薬の無計画な使用が徐々に普及してきました。今後の農業による健康被害に危機感を抱いたミスラさんは、農薬を使わずに土着微生物を活用した農法について、また、植物自らの生育する力を引き出す農法について学びを深めました。

タクレ村に戻った後は、農薬を使用せず、土壌と作物そのもののもつ本来の威力を発揮させる自然農法を取り入れた有機農業に家族と共に取り組みます。そして、村の人たちに農薬による健康被害や持続的な有機農法について伝えていくことが目標です。

タクレ村の問題系図



タンタンミエさんの活動計画

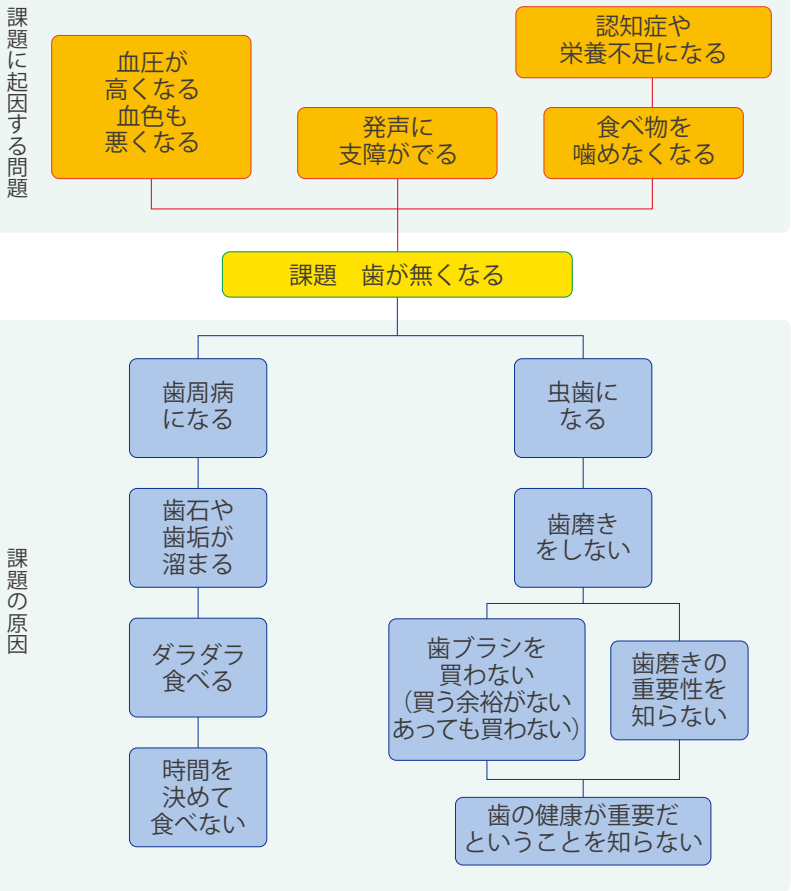


「歯磨きの大切さを伝えたい」

タンタンミエさんの出身村の課題は、歯のない人が数多く存在し、結果的には栄養不足や様々な病気に繋がっていることです。村の人たちにはむし歯予防のための歯みがきの習慣はなく、1日1回朝のみ、口臭予防のために歯みがきをします。

日本ではむし歯や歯周病のメカニズムについて勉強し、歯の模型などを使ってむし歯の知識や予防について分かりやすく伝える練習も重ねました。村に戻った後は、村長さんと協力して村の人たちや小学校の子どもたちに歯の大切さやむし歯予防についての知識を伝え、村の人たちの健康を守っていくことが目標です。

コンゾン村の問題系図



選考・フォローアップ・調査

ネパールにおいては、2015年に発生した地震からの復興状況をカブレパランチョーク郡にて継続して調査を行いました。ミャンマーでは歯科医の監修のもと、マンダレー近郊の村および、市内のスラム、戦災孤児の暮らす孤児院で住民の口腔衛生の現状を歯科衛生士に同行いただいて調査しました。インドネシアでは医師に同行いただき、西スマトラ州タランバブンゴ地区の住民の健康状態を調査しました。これらの調査結果は今後の研修生選考やPHD協会が関係する支援に活かされます。

訪問した4カ国（ネパール、ミャンマー、インドネシア、タイ）において帰国研修生のフォローアップを行いました。また、36期生の選考は、ネパール、インドネシア、ミャンマーで実施しました。

訪問国	日 程
ネパール	2017/7/28 ～ 8/5
ミャンマー	2017/8/21 ～ 8/30
インドネシア	2017/9/9 ～ 9/17
タイ	2018/2/19 ～ 2/28
ミャンマー	2018/3/21 ～ 3/29



上写真/西スマトラ州タランバブンゴ地区の保健施設で住民の健康状態を調査する喜多野医師。(インドネシア)



右写真/マンダレー市内のスラムにて子どもの口腔内を調べる高藤歯科衛生士。(ミャンマー)

36期研修生の選考と結果

ネパール・カブレパランチョーク郡

応募者の出身村と人数	ジトゥルポカリ村：女性 4 名	
選考結果		サビナ・ビスンケ・ラムテルさん (20歳・女性)

ミャンマー・マンダレー県

応募者の出身村と人数	マンダレー市近郊 シュエグニの寺院 女性 5 名、男性 1 名	
選考結果		サンダーモー（モーモー）さん (30歳・女性)

インドネシア・西スマトラ州

応募者の出身村と人数	カユジャングイ村：女性 2 名、男性 1 名	
選考結果		レニ グスティカさん (22歳・女性)

2018年度36期研修生は、引き続き、ネパール、インドネシア、ミャンマーの3カ国から選考いたしました。3期連続で女性が3人となりました。彼女たちが無事に来日し、様々な研修を受け、地域の発展に有為な人材となるよう、今後もサポートしていきます。



元研修生から選考面接の説明を受ける候補者たち。(ネパール)

広報・啓発



PHD協会が行った2017年度の広報・啓発活動を報告します。

メディア活動

PHDの活動について幅広く情報発信し、メディアの特性に合わせた広報・啓発活動を展開しました。2017年10月には、新しいホームページを公開しました。

会報・パンフレット等： PHD LETTER (135, 136, 137号)、研修生活動紹介チラシ、事業報告書

SNS：Facebook、Instagram、Twitter

新聞：神戸新聞（2017年6月4日, 9月13日, 2018年3月4日）、中日新聞（2017年6月28日）、読売新聞九州版（2018年1月21日）

他団体会報等：きょうどう 第1087号、椋山小学校だより

他団体HP・メールニュース等：国際協力マガジン、スタディツアーパスポート、神戸国際協力交流センター、JANIC、JICA

講演・交流会

2017年度も各地での講演・交流会には、研修生と一緒に向かい、約5,000名がPHDの講演・交流会に参加しました。

＜講演・交流先＞

京都府/福知山淑徳高等学校、洛北高等学校

大阪府/スタディツアー合同説明会、大阪国際大学、西浦小学校、大阪女学院大学、大学コンソーシアム大阪、エッセイコンテスト授賞式
兵庫県/阪神シニアカレッジ、関西学院大学、西宮今津高校、ロータリーファミリーの集い、姫路ロータリークラブ、小野加東ロータリークラブ、神戸市シルバーカレッジ、神戸女学院大学、神戸学院大学、加東市連合婦人会、阿弥陀小学校、井吹台中学校、国際高等学校、こうべ小学校、明石城西高等学校、神戸親和女子大学、関西学院高等部、阿万小学校、志筑小学校、但馬農業高等学校

スタディツアー

2017年度はネパール及び、大阪女学院大学と共同でミャンマーとタイへのスタディツアーを実施しました。

訪問国	期間	参加・同行者数
ネパール	2017/7/28 ～ 8/5	3 人
ミャンマー	2017/8/21 ～ 8/30	12 人
タイ	2018/2/19 ～ 2/28	7 人

Partner、ひょうごボランティアプラザ、市民国際プラザ、関西NGO協議会、アーユス仏教国際協力ネットワーク、IDJ国際協力ジャーナル、日本財団Canpan、NGOネットワークジャパン、ボランティアプラットフォーム、ESDツアープログラム
＜敬称略＞

SNSフォロワー数	
Facebook（いいね）	993
Instagram（フォロワー）	620
Twitter（フォロワー）	390

2018年3月31日現在

＜東日本・西日本研修旅行で講演・交流会の記載は本項では除く＞
＜敬称略＞

講演・交流会等の参加者数	
研修生来日報告会	34 人
研修生帰国報告会	62 人
交流会	1,418 人
東日本研修旅行交流会	329 人
西日本研修旅行交流会	766 人
講義・講演	2,406 人
合計	5,015 人



戦災孤児の暮らすシュエグニの寺院で子どもたちとの交流。(ミャンマースタディツアー)

第20期国内研修生

国内における人材育成を目的として、2017年度は研修担当の国内研修生を1名受け入れました。

吉村 芙優さん
(女性・22歳 研修担当)



<敬称略>

短期国内研修生と学生の受け入れ

PHD協会主催の国際協力エッセイコンテスト2017年の兵庫県婦人会館ユネスコ基金賞受賞者の原田梨央さんとPHD賞受賞の近藤涼子さんが、短期国内研修生として、それぞれスタディツアーと海外出張に同行しました。また、国際協力やNGOに対し



原田 梨央さん
(2018年2月タイ・ツアー同行)



近藤 涼子さん
(2018年3月ミャンマー出張同行)



八百野 寛則さん
(ドットジェイビー・インターン)



中嶋 里佳子さん
(ドットジェイビー・インターン)



酒井 理紗さん
(ドットジェイビー・インターン)

ボランティアとの協働

PHDの活動に、一年を通してのべ490名を超える方々がボランティアとして関わって下さいました。神戸市シルバーカレッジ国際交友会の会をはじめとして、多くの方々が今年も切手整理、日本語補習、会報発送作業に参加していただきました。

ボランティア参加者数	
事務作業補助・収集物整理等	313人
日本語復習	122人
会報発送作業	39人
翻訳	5人
ソディ例会	5人
通訳	6人
合計	490人

啓発事業促進物の販売

タイ・カレンの手織り布製品とネパールの手編み毛糸製品等を、研修旅行先での交流会と県内のバザー等で販売しました。

<販売・委託・出店先>

東京都／ロータリー米山記念奨学会

神奈川県／こどもの広場 もみの木クラブ

山梨県／福島幸子（販売・委託）、山梨YMCAグループ

研修期間：2017年4月1日～2018年3月31日

研修先：西脇指導者会、はらっぱ保育所、神戸常盤大学防災研修、東日本研修旅行、釜ヶ崎研修、西日本研修旅行、淡路島研修、但馬農業高等学校、但馬PHD指導者会、ミャンマースタディツアー

する理解を深めてもらうため、NPO法人ドットジェイビー派遣の大学生3名をインターンとして、2018年2月から3月まで受け入れました。

平成29年度外務省委嘱NGO相談員

国際協力分野で経験と実績をもつ日本のNGOが外務省の委嘱で「NGO相談員」となり、NGOの国際協力活動、NGOの設立、組織の管理・運営など、市民やNGO関係者からの質問・照会に答える事業を受託しました。国際協力への理解促進のため、国際協力関係のイベント等において相談業務や講演を行う「出張サービス」を実施しました。

平成29年度NGO相談員事件数	
相談件数	678件
出張サービス	24件 兵庫10件、大阪6件、和歌山2件 鹿児島2件、東京2件 京都1件、山梨1件

岐阜県／中濃教会、国際ソロプチミストかかみ野

愛知県／小牧幼稚園

京都府／福知山淑徳高等学校（販売・委託）

大阪府／ワンワールドフェスティバル、ワンワールドフェスティバルfor Youth

兵庫県／神戸市シルバーカレッジ ジョイラックデー（2回）、

第13回多文化共生のための国際理解教育開発教育セミナー、神戸市シルバーカレッジ学園祭、国際ロータリー第2680地区大会、国際ソロプチミスト姫路西チャリティバザー、国際ソロプチミスト神戸チャリティバザー、コープ平和のつどい、コープ地球のステージ、第35期研修生帰国報告会、淡路市国際交流協会岡山県／赤磐交流会

他団体との協働

他の国際協力・交流団体等との共催行事の実施、運営参加を通して、協働および情報交換を行いました。また、イベント等にも参加し、PHDの活動を幅広く紹介しました。

<共催・参加イベントなど>

兵庫NGOめぐり（エフエムわいわい、まち・コミュニケーション、CODE、被災地協働NGOセンター）、関西NGO協議会榎木さんお疲れ様でした会、ミャンマー関西文化交流イベント、休眠預金口座学習会、生活協同組合コープこうべ総代会、遺贈セミナー、アーユス合宿、ミャンマー文化交流イベント、生協総研アジア生協協力基金報告会、NGO外務省連携推進会議、神戸YMCA式典、関西NGO協議会総会、ESD拡大運営委員会、外務省NGO連携推進委員全体会議、難民ワークショップ、NGO-JICA協議会コーディネーター会議、NGO相談員近畿ブロック会議、第16回NGOスタディツアー合同説明会、ひょうごん通常総会、小野まつり、JICA安全対策研修、NGO-JICA協議会、HYOMIC会議、第14回「多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー」、NGO外務省連携推進委員会タスク会議、神戸YMCA国際委員会、国際交流基金会議、NGO-JICA協議会CDN会議、ワンフェスユース実行委員会、関西SDGsプラットフォーム設立準備会合、ひょうごん運営委員会、HYOGON月例交流会、第3回NPOワーカーズ交流会、NGO相談員会議、全国

書き損じハガキ等の収集

2017年度はご協力いただいた収集物の換金・相当額は80万円近くにのびりました。

収集物の相当額・換金額集計	
書き損じ及び未使用ハガキ	240,084円
未使用切手	237,567円
外貨コイン・使用済み切手	236,745円
未使用テレホンカード	63,000円
合計	777,396円

山口県／梅光学院中学校・高等学校、岩国みなみワイズメンズクラブ
広島県／共生庵、PHD灰塚交流会

福岡県／北九州市祝町交流会

長崎県／prawmai（販売・委託）

鹿児島県／かごしま有機生産組合「地球畑」（販売・委託）、
蔵島交流会、だるま保育園

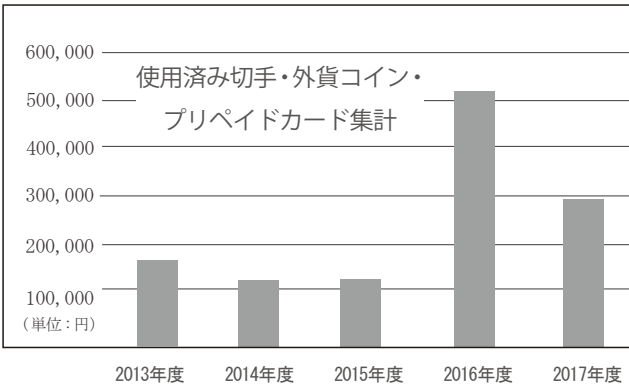
<敬称略>

ネットワークNGO等との意見交換会、本野一郎さんを送る会、向井さんをしのぶ会、神戸NGO協議会、ダリットとして生きる、NGO-外務省定期協議会、Hyogon Meet Up、大学コンソーシアム大阪、兵庫県ユニセフ協会評議員会、兵庫県中央労働センターセミナー、SDGs設立イベント、ひょうごん賀詞交歓会、ワンワールドフェスティバルfor Youth、ワンワールドフェスティバル、国際開発支援部門研究会、ひょうごんNPO塾セミナー、ひょうごんNPO塾ファンドレイジングの方法と実践、ともしび理事会、関西NGO協議会30周年記念レセプション、国際ロータリー第2680地区大会、米山記念奨学生歓送会、HYOGON合宿、JANIC2030年に向けた戦略方針骨子説明会

<運営>

NGO外務省連携推進委員会（委員）、神戸NGO協議会（運営委員）、関西NGO協議会（理事）、コープともしびボランティア振興財団（理事）、神戸市地球環境市民会議（委員）、兵庫県ユニセフ協会（評議員）、NGO-JICA定期協議会（コーディネーター）、神戸YMCA国際委員会（委員）、多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー（実行委員）、ワンワールドフェスティバルfor Youth～高校生のための国際交流・国際協力EXPO（監事）、兵庫県国際交流同志の会（幹事）

<敬称略>



国際協力エッセイコンテスト 2017

「国際協力の担い手育成」という目的のもと、兵庫県婦人会館
ユネスコ基金の助成を受けて2017年度も実施しました。11月には
有識者による審査会を実施し、6作品を選定。またワンワールドフェ
スティバルfor youthにて、エッセイコンテスト受賞作発表を実
施し、受賞者が報告を行いました。2月には兵庫県婦人会館ユネ
スコ基金賞受賞者の原田さんにタイ・スタディツアーに、3月のミヤ
ンマー出張にはPHD賞を受賞した近藤さんに短期国内研修生とし
て同行していただきました。

PHD賞

愛媛大学 近藤 涼子さん
タイトル

「国際協力と日本の伝統工芸品のコラボ」

兵庫県婦人会館ユネスコ基金賞

武庫川女子大学 原田 梨央さん
タイトル

「小さな願いと大きな夢
— 国際協力とあなた自身のコラボ —」

審査員特別賞

桜美林大学 又吉 麻菜美さん
タイトル

「国際協力×日常生活
— ちっぽけな自分にもできること —」

優秀賞

立命館アジア太平洋大学 小仁井 茅春さん

九州大学 三島 はるかさん

兵庫教育大学 笠原 健志さん

入賞

神戸学院大学 綾部 勇太さん

関西学院大学 多島 優加さん

慶應義塾大学 穂積 懂子さん

大阪女学院大学 遠藤 響子さん

学習院大学 久保井 颯太さん

北九州市立大学 清水 愛子さん

神戸学院大学 前野 恵太さん

神戸市外国語大学 新山 沙樹さん

神戸市外国語大学 白石 汐音さん



エッセイコンテスト授賞式にて、審査員特別賞の表彰を受ける又吉さん（写真右）

個人情報保護のため氏名は掲載しておりません。
ご了承ください。

会員数

会員数は下記の通り、終身維持会員、友の会員、法人会員
を含めて930人となりました。継続したご支援、新たな方からの
ご支援を得るため、様々な媒体、方法を駆使して広報活動を展開
していきます。

	新規会員数 （目標）	新規会員数 （実績）	2017年度末現在の 会員数
終身維持会員	3人	7人	193人
PHD 会員	20人	16人	528人
友の会会員	15人	16人	207人
法人会員		2団体	2団体
合 計	38	41	930

法人会員の団体さま



国際ソロプチミスト神戸 様



生活協同組合コープこうべ 様

2017年度 会費納入者名簿（2018.3.31 まで）

個人情報保護のため氏名は掲載しておりません。
ご了承ください。

失礼ながら皆さまのお名前につきまして、敬称を省略させていただきました。

PHD へのご寄附及び会費は、免税・減税の対象となります
PHD へのご寄附及び会費は、税額控除もしくは所得控除の
適応を受けることができます。

＜例えば20,000円の寄附をして、確定申告をすると＞
◆税額控除の場合
(20,000円－2,000円)×40%＝7,200円^{*1}が還付されます。
^{*1} 所得税額の25%に相当する金額を限度とします。

◆所得控除の場合
20,000円^{*2}－2000円＝18,000円が所得金額から引かれます。
^{*2} 所得金額の40%を限度とします。
詳しくは国税庁のホームページをご覧ください。

PHD 会員制度のご案内

PHD 運動は会員の皆様によって支えられ、すすめられていま
す。継続したご支援をよろしく願いたします。

PHD終身維持会員	1口	10万円（任意の口数）
PHD会員	年額1口	5千円（任意の口数）
PHD友の会会員	年額	千円以上（任意の額）
PHD法人会員	年額1口	2万円、3万円、 5万円、10万円 （上記金額より任意の口数）

会員の皆さまには、会報「PHD LETTER」、年度事業報
告をお届けします。

会費のお振込みはこちらに願いたします。

◆ゆうちょ銀行 口座番号：01110-6-29688 口 座 名： 公益財団法人PHD協会	◆三井住友銀行 神戸営業部（500） 口座番号：普通3210568 口 座 名： 公益財団法人PHD協会
--	--

組織運営

2017年度のPHD協会の運営について報告します。

2017 年度 決算

正味財産増減計算書

自 2017 年 4 月 1 日 ・ 至 2018 年 3 月 31 日 （単位：円）			
経常収入		経常支出	
科目	決算額	科目	決算額
基本財産運用収入	5,707,407	研修事業費	20,648,704
特定資産運用収入	38,240	啓発事業費	9,924,344
事業収入	1,780,820	管理費	4,323,527
寄附収入	10,880,279		
会費収入	3,423,500		
助成金収入	7,859,937		
受取利息・配当金	180		
災害救援寄附金収入	2,540,795		
雑収入	430,298		
経常収益計	32,661,456	経常費用計	34,896,575

役員（2018.3.31 現在）

理事会		
理事長	水野 雄二	(社福) 神戸聖隷福祉事業団 理事長
理 事	太田 貞夫	(株) 神戸新聞社 姫路支社 姫路支社長
理 事	尾上 尚司	(公財) ひょうご子どもと家庭福祉財団 常務理事
理 事	滝澤 功治	神戸海都法律事務所 弁護士
理 事	中村 尚義	(株) 淡路第一商事 代表取締役
理 事	丸尾 研一	(株) エムエスケイ 代表取締役
理 事	水口 典久	兵庫県 産業労働部 国際局長
理 事	安平 和彦	はりま法律事務所 弁護士
理 事	山村 昭	神戸市 市長室国際部 部長
監 事	岡田 卓巳	生活協同組合コープこうべ 地域活動推進部 統括
監 事	後藤 玲子	後藤玲子法律事務所 弁護士
顧問		
顧 問	米谷 収	ライス ヴァレー A.C. 代表
顧 問	橋本 一豊	(株) 神戸マツダ 代表取締役会長

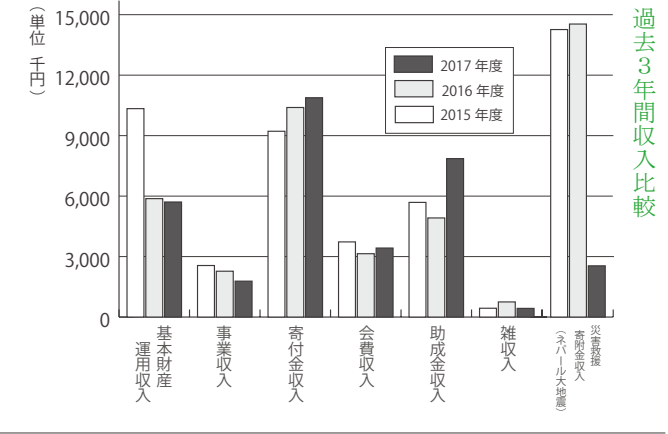
評議員会		
井上 真二	(公財) 神戸YMCA 総主事	
寒者 恵	元三木市職員 保健師／保健衛生指導者	
渋谷 富喜男	元兵庫県有機農業研究会会長／農業指導者	
杉原 一三	(特活) 篠山ナマステ会 幹事	
寺内 真子	(公財) 神戸YWCA 責任幹事	
納堂 邦弘	ミカタスイッチ(株) 代表取締役／元PHD協会職員	
前田 靖文	国際ロータリー第2680地区 米山奨学委員会	
向井 菊美	国際ロータリー第2680地区	

運営協力委員		
伴 忠道	青年海外協力隊近畿地区兵庫県OB会 事務局長	
西岡 強	兵庫県町村会 事務局長	
隅田 昇次	(社福) 兵庫県社会福祉協議会 事務局長	
清水 勲夫	兵庫県青少年団体連絡協議会 副会長	
伊勢田 佳博	(一社) 兵庫県信用組合協会 常務理事兼事務局長	



貸借対照表 2018年3月31日現在 （単位：円）

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	4,542,565	流動負債	872,400
固定資産	307,016,229	固定負債	2,041,905
(うち基本財産として 275,000,000)		正味財産	308,644,489
	311,558,794		311,558,794



松本 竜悟	(公社) 日本青年会議所近畿地区 会長
稲岡 健	兵庫県小学校長会 理事
薮本 孝	兵庫県中学校長会 会長
市場 八重子	(一社) ガールスカウト兵庫県連盟 書記
榎谷 加代子	国際ソロプチミスト神戸 会長
神吉 泰彦	高砂にPHD研修生を迎える会
後藤 象三	(一社) 兵庫県医師会 事務局長
戎 繁樹	(一社) 兵庫県歯科医師会 総務部 総務企画課 課長
堅田 博行	(一社) 兵庫県薬剤師会 事務局長
小前 裕一	(公財) 兵庫県老人クラブ連合会 専務理事兼事務局長
平岡 靖敏	神戸商工会議所 理事・産業部長
山下 晃	(一社) 神戸銀行協会 専務理事
大西 巧	(一社) 兵庫県信用金庫協会 常務理事
石田 恭一	(一社) 兵庫県建設業協会 専務理事
塩谷 元宏	兵庫県森林組合連合会 専務理事
突々 淳	兵庫県漁業協同組合連合会 専務理事
濱崎 加代子	神戸キワニスクラブ 福祉広報委員長
山崎 稔彦	兵庫県連合自治会 事務局長
大家 重明	兵庫県青年洋上大学同窓会 会長
富田 哲浩	兵庫県立高等学校長協会 兵庫県立兵庫高等学校長
阪田 芳昭	(一社) 兵庫県私学連合会 事務局長
西海 恵都子	(株) 神戸新聞社 編集局次長
北野 美智子	兵庫県連合婦人会 会長
森口 育子	兵庫県立大学 名誉教授
西村 早百合	Group Taytay
猶原 信男	ミャンマー関西 代表
榛木 恵子	(福祉) 聖和共働福祉会 理事長

助成金事業

平成29年度「NGO補助金事業」

NGOの事業実施能力や専門性の向上のため、NGOの事業促進に資する活動を支援する「国際開発協力関係民間公益団体補助金（NGO補助金）」を外務省国際協力局民間援助連携室から頂き、研修事業を行いました。

平成29年度「NGO相談員制度」

P.9「平成29年度外務省委嘱NGO相談員」をご参照ください。

平成29年度「NGOインターン・プログラム」

外務省主催、公益社団法人青年海外協力協会（JICA）運営のNGO若手人材育成を目的とした「NGOインターン・プログラム」の受入団体に選定されました。

「愛のキャンパ 中央助成」日本労働組合総連合会

人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」のため、NGOなどの事業の支援を目的としている「愛のキャンパ 中央助成」より、PHD協会の研修事業へご支援をいただきました。

兵庫県婦人会館ユネスコ基金

国際感覚の豊かな青少年育成を目的として、PHD協会の事業へご支援をいただきました。PHD協会では国際協力エッセイコンテスト2017における「兵庫県婦人会館ユネスコ基金賞」の創設などを行いました。

受賞歴

- 1981 岩村先生、第1回ロータリー国際理解と平和賞受賞
- 1982 神戸新聞平和賞
- 1982 兵庫県社会賞
- 1988 国際交流基金、地域交流振興賞
- 1990 神戸国際交流賞
- 1991 毎日国際交流賞
- 1993 岩村先生、マグサイサイ賞受賞
- 1995 第4回環境水俣賞受賞
- 1996 外務大臣賞受賞
- 1997 今井理事長、兵庫県功労者表彰
- 2001 神戸新聞社社会賞
- 2011 井植文化賞
- 2013 かめのり賞
- 2014 神戸キワニスクラブ社会貢献賞

事務局・スタッフ（2018.4～）

事務局



坂西 卓郎
主任主事 / 事務局長



高藤 真理
主事補 / 研修担当



中西 美樹
主事補 / 総務・ファンドレイジング担当



八木 純二
主事補 / 広報・啓発担当



古寺 瑞代
嘱託職員 / 財務担当



芳田 弓生希
嘱託職員 / 研修担当



川原 桂
嘱託職員 / 広報・啓発担当



濱 宏子
嘱託職員 / 人事・米山奨学生担当



酒井 萌乃
NGOインターン・総務担当

2017年度退職
上石 景子 / 前田 千春

ミャンマー現地スタッフ



トゥントウン
1994年度第12期生 / NGOヤンキン代表



モーママ
2013年度第31期生



サンティダエー
2015年度第33期生



ティダチョー（マーチョ）
2016年度第34期生

ネパール現地スタッフ



ランマヤ・タマン
2012年度第30期生



ムク・マヤ・タマン
2014年度第32期生



カンチ・マヤ・タマン
2015年度第33期生

インドネシア現地スタッフ



ダスウィル
1999年度第17期生



アルウィ ファドリ
2001年度第19期生



ダルミアティス（ミミ）
2002年度第20期生



アフリタ
2004年度第22期生



マスラル アリゾン
2005年度第23期生



ダリスマン
2013年度第31期生

